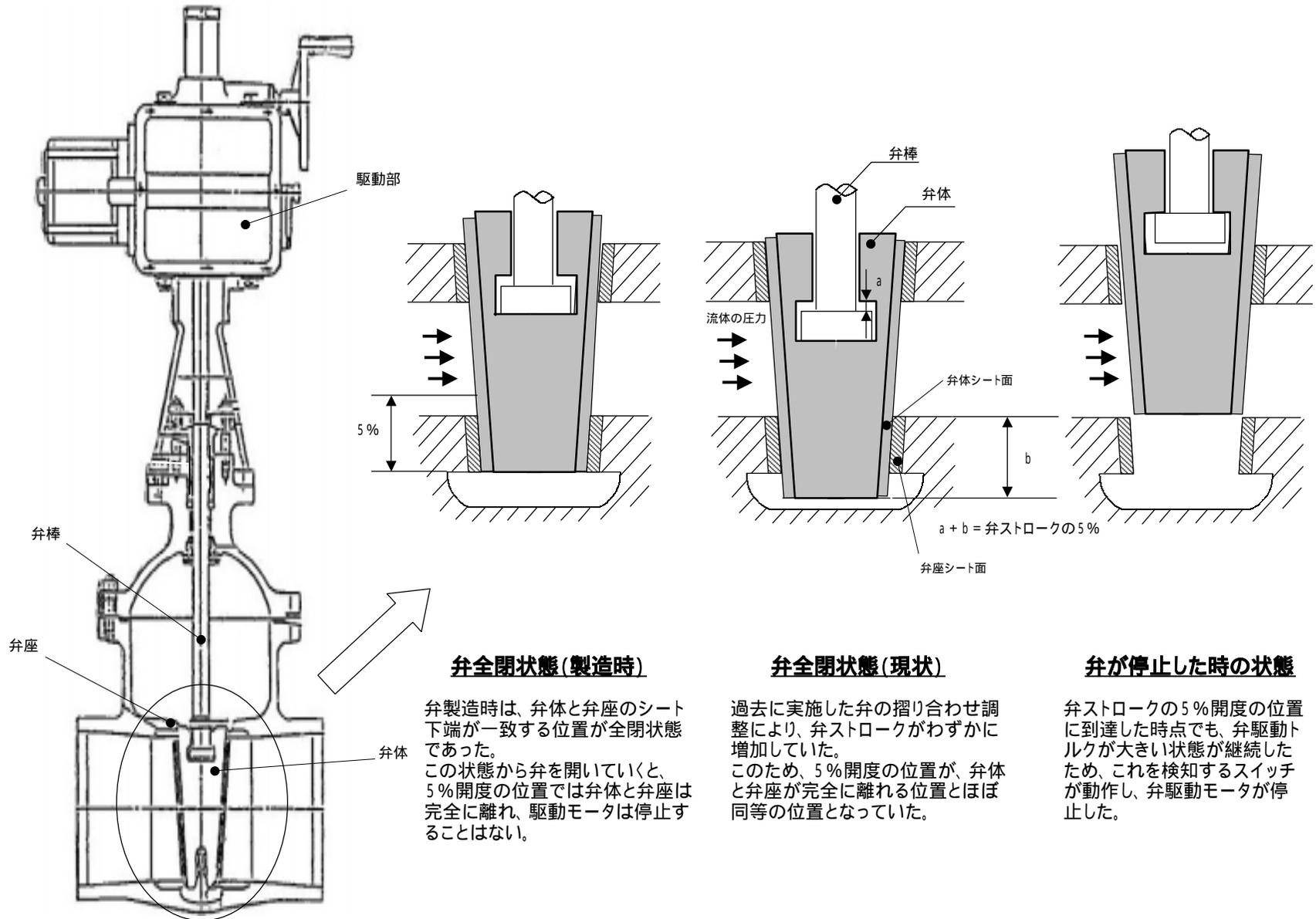


# 補助ボイラー側の蒸気供給弁が5%開度で停止したメカニズム



## 弁全閉状態(製造時)

弁製造時は、弁体と弁座のシート下端が一致する位置が全閉状態であった。この状態から弁を開いていくと、5%開度の位置では弁体と弁座は完全に離れ、駆動モータは停止することはない。

## 弁全閉状態(現状)

過去に実施した弁の摺り合わせ調整により、弁ストロークがわずかに増加していた。このため、5%開度の位置が、弁体と弁座が完全に離れる位置とほぼ同等の位置となっていた。

## 弁が停止した時の状態

弁ストロークの5%開度の位置に到達した時点でも、弁駆動トルクが大きい状態が継続したため、これを検知するスイッチが動作し、弁駆動モータが停止した。